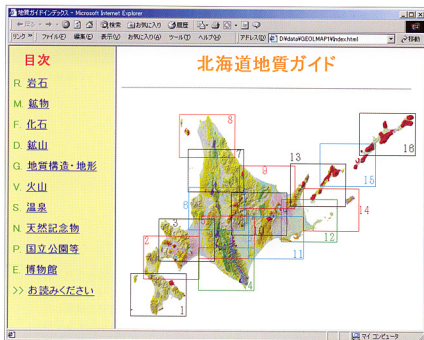


北海道地質ガイド製作現場より

<太田 英順・高橋 裕平・中川 充・宝田 晋治>

地質調査所北海道支所では北海道地質ガイドを製作中です。地質の専門家以外の人達に北海道の地質の面白さを紹介するための解説集で、写真と図を数多く収録し、通常のインターネットブラウザで閲覧できるHTML形式で

CD-ROM出版される予定です。百科事典のような網羅的・体系的なものにはせず、執筆分担者が面白いと思ったテーマを自由に記述することを原則として編集しています。



1. 地質ガイドの入り口。
目次のいずれかのジャンルをマウスでクリックすればそのジャンルのメニューに移動し、地質図上の枠線内をクリックすれば、その部分の地質図が拡大表示されます。この入り口はまだ改良の余地が多く、特にデザイン面で何かアクセントがほしいところです。完成版が出版されたらどこがどう変わったか見比べてください。枠線で区切られた各区域の地質拡大図に関しても、狭いディスプレイ画面上でどのようにわかりやすく解説するかなど、工夫をこらすべき点は数多くあります。



2. 鉱物のメニュー画面。
HTML形式での情報提供には、専用の辞書ソフトなどに比べると機能や操作性にやや難があるのは否めませんが、コンピュータの機種とOSを選ばないことや、一部あるいは全部をウェブサイトそのまま置くことができることなど、メリットは多くあります。地質ガイドではフレームを用いることによって操作性を高めています。フレームを扱えないブラウザ用のバージョンを作成すべきかどうかは今のところ意見が分かれていません。

HTMLドキュメントの最大の利点は記載されたテキストや図に自由にリンクがはかれることです。たとえば写真の下に書かれた解説文の下線付き部分をマウスでクリックすれば、それぞれの単語を解説している場所に一瞬で移動できます。インターネットに接続されているコンピュータで閲覧している場合、移動先は北海道地質ガイドのCD-ROMの中だけとは限りません。この利点を上手に使用すれば、頻繁に改訂の必要な情報の提供など、利用者に対する様々なサービスが可能になります。

R20. 石灰華ドーム (長万部町二股温泉)



3. 長万部町二股ラジウム温泉の石灰華。

直径0.2mmほどの小さな粒が集まってできている砂金粒。



上の写真のように、砂金粒はより小さな粒の集合体のような形をしていることがあります。このため「砂金粒は川を流れているうちに互いにくっつきあって大きくなる」と主張する人もいます。しかし、現実には、金鉱脈の中(つまり砂金になる以前)の金粒にも同じような集合体が見られます。そしてまた、砂金の産地は、**洞ノ舞鉱山**などの**新第三紀の大きな金鉱脈**の周辺よりも、**今金・大千軒・枝幸山塊**などの中生代の小さな金鉱脈が無数に散在する地域に多いのです。これら中生代の鉱脈は「老脈」と呼ばれ、その中の金粒は(新第三紀の金鉱脈のものに比べて)大粒のもの割合がはるかに高いことがよく知られています。ですから、少なくとも北海道の砂金の場合、大粒のものとも(鉱脈の中にあった時から)大きかったと考えたほうがよさそうです。

4. 今金町産砂金。

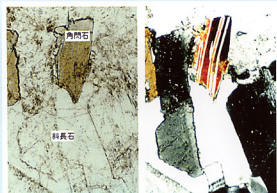
このガイドでは、天然記念物や砂金など一般の人が興味を持ってそうなもの、そしてまた実際に露頭を訪れたり博物館などで観察したりできるものを選んで、それらに対する平易な解説を心がけています。参考文献も学術誌などは避け、できる限り街の書店で購入可能なものを紹介することにしていきます。とはいっても、地質図幅以外に適切な参考文献のない項目もかなりの数に上りました。

D7. 洞ノ舞鉱山



5. 洞ノ舞鉱山跡の慰霊碑。

R4. 閃緑岩 (ニカンベツ川) 顕微鏡写真

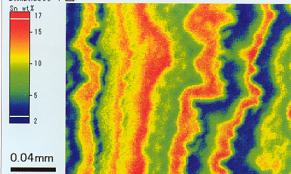


平行ニコル 0.5 mm クロスニコル

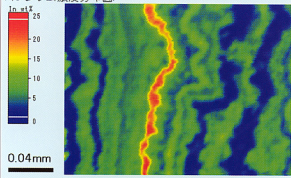
6. えりも町ニカンベツ産閃緑岩の顕微鏡写真。

D1.3 インジウム鉛石の組成マップ 1

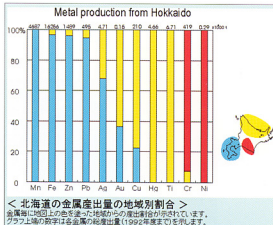
(鉛濃度分布図)



(インジウム濃度分布図)



7. 豊羽鉱山産インジウム鉛石の組成マップ。

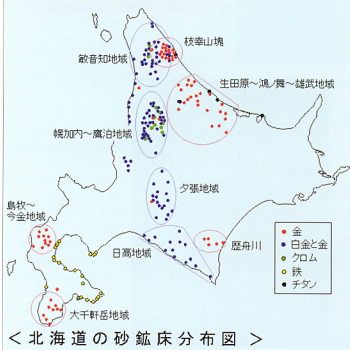


8. 北海道の金属産出量統計。

文章は平易でも、写真や図表は学術誌に掲載してもおかしくないレベルのものを用いています。そのほとんどは地質ガイド用に作成したオリジナルです。野外の露頭や天然記念物などの多くは、実際にフィールドまで出かけてデータを集めたうえで記事にされました。紹介されている岩石や鉱物の試料は、原則として地質調査所の研究者の所有しているもの、あるいは北海道支所標本室に保存されているものです。

楽しんでいただくことを目的とした北海道地質ガイドをその製作現場からご紹介しました。

D15.北海道の砂白金産地



9. 北海道の砂鉱床分布図。